

天沼中だより

令和4年12月 8日

杉並区立天沼中学校

東京都杉並区本天沼3-10-20

☎ 3390-0161

天沼中HPのQRコードです。
不定期更新の天中日記が見
られます ↑



今年度の「全国学力学習状況調査(3年生対象)」「杉並区 特定の課題に対する調査、意識・実態調査(3年生対象)」「東京都学力向上を図るための調査(全学年対象)」の結果の概要についてお知らせいたします。

1 全国学力学習状況調査(3年生対象)の結果

令和4年度 全国学力学習状況調査(3年生)			平均正答率(%)			
			本校	東京都 (公立)	全国 (公立)	
全体			72.0	70.0	69.0	
国語	学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	74.9	73.6	72.2
			(2)情報の扱い方に関する事項	52.1	43.8	46.5
			(3)我が国の言語文化に関する事項	73.2	70.9	70.2
	学習指導要領の内容	思考力 判断力 表現力等	A 話すこと・聞くこと	66.7	65.7	63.9
			B 書くこと	52.1	43.8	46.5
			C 読むこと	74.6	70.8	67.9
	評価の観点		知識・技能	72.1	69.8	69.0
思考・判断・表現			66.9	63.8	62.3	
全体			65.0	54.0	51.4	
数学	学習指導要領の領域		A 数と式	71.0	59.5	57.4
			B 図形	57.7	47.6	43.6
			C 関数	59.6	47.1	43.6
			D データの活用	65.7	59.5	57.1
	評価の観点		知識・技能	72.6	62.4	59.9
思考・判断・表現			50.1	39.7	36.2	
全体			57.0	51.0	49.3	
理科	学習指導要領の領域		「エネルギー」を柱とする領域	45.8	42.8	41.9
			「粒子」を柱とする領域	54.6	51.8	50.9
			「生命」を柱とする領域	67.3	60.1	57.9
			「地球」を柱とする領域	55.9	44.9	44.3
	評価の観点		知識・技能	54.1	46.9	46.1
			思考・判断・表現	58.9	52.3	51.0

3教科ともに、教科全体として、東京都、全国の平均正答率を上回りました。学習指導要領の領域や内容、評価の観点別の結果もすべて、上回りました。

2 杉並区 特定の課題に対する調査、意識・実態調査（3年生対象）

（1）各教科の結果

		国語			数学			英語		
		全体	基礎	活用	全体	基礎	活用	全体	基礎	活用
3年	本校	63.8	74.1	50.5	62.1	76.1	32.5	58.0	63.0	47.4
	杉並区	62.6	74.2	47.7	59.3	74.2	31.7	54.4	59.7	43.1
	ポイント差	1.2	-0.1	2.8	2.8	1.9	0.8	3.6	3.3	4.3

（2）学習・生活についてのアンケートの結果<一部抜粋>

設問番号	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合（％）		
		本校	杉並区	差
問1-2	地域の人たちが、あなたの生活や学習を応援したり支えてくれたりしていると感じている。☆	87.7	71.6	16.1
問1-4	今の自分に自信がある。☆	47.9	41.5	6.4
問1-9	今の自分に満足している。	35.6	33.6	2.0
問1-11	家族や保護者は自分のことを気にかけてくれていると思う。☆	97.3	91.2	6.1
問1-12	今の自分を「好き」と言える。	46.6	45.2	1.4
問1-20	自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。	93.2	90.7	2.5
問2-1	学校の生活が充実している。	84.9	83.1	1.8
問2-2	失敗の経験を生かすことができる。▲	75.3	80.2	-4.9
問2-11	今学んでいることは、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。◇	82.2	72.6	9.6
問2-12	今住んでいる地域に、自分の「居場所」があると感じる。☆	87.7	80.2	7.5
問2-14	これから先、どのように生きていきたいかを考えている。◇	83.6	73.8	9.8
問2-16	調べたことをもとに、自分の意見や考えをまとめることができる。◇	82.2	72.1	10.1



設問番号	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合 (%)		
		本校	杉並区	差
問3-3	それぞれの教科で学んだことの関係や、生活での役立ち方を、自分なりに考えている。◇	68.5	59.5	9.0
問3-5	何が分かっていないか、それがどうしてなのかをたしかめながら勉強している。◇	83.6	71.8	11.8
問3-10	授業中、自分の考えや気持ちを発表することがよくある。▲	38.4	49.8	-11.4
問3-15	授業中、一人で問題を解けないとき、うまく考えをまとめられないとき、先生に質問できる自由がある。▲	67.1	77.5	-10.4
問3-17	授業では、答えが一つにならないような課題を追求することが多い。◇	57.5	47.5	10.0
問3-18	授業では、自分の得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、一人で学んだり、先生が個別に教えてくれたりする時間がある。▲	26.0	45.4	-19.4

各教科について

・3教科ともに、区の平均正答率を上回りました。また、基礎、活用別にみても、6項目中、5項目が杉並区の平均正答率を上回っており、下回っている項目も0.1ポイントしか下回っていませんでした。

意識・実態調査、アンケートについて

・自己肯定感に関することや地域での自分の居場所などの項目は概ね区平均を上回っている傾向がみられました（☆）。また学習を深めたり多面的にとらえようとしたりする意欲が高い傾向がうかがえました（◇）。

・自分の考えや気持ちを発表する際の消極性、教員への質問への躊躇、不明点に対して積極的に自ら働きかけにくい傾向がみられます（▲）。学校での指導上の課題として、生徒の得意分野の伸長、苦手分野の縮減に対する個別に対応できる体制づくり、「個別最適な学び」の促進に努める必要性を感じました。



3 東京都 学力向上を図るための調査（全学年対象）＜一部抜粋＞

※ 調査内容は、意識調査のみです。

項目	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合（％）		
		本校	杉並区	東京都
学習の動機	(1) 分かることやできることが楽しいから。▲	78.4	80.8	80.3
	(2) しっかり考えられるようになりたいから。▲	79.7	81.7	81.3
	(5) 学校の学習で人に負けたくないから。	43.2	51.4	51.5
	(6) 先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから。	44.4	40.7	42.9
学習の進め方	(1) 確実にできるようになるまで、くり返し練習している。	69.7	67.3	65.0
	(2) 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	66.8	69.8	69.2
	(6) 学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている。▲	77.6	79.0	78.9
	(8) テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている。▲	75.1	77.7	76.8
	(12) 他の人と相談して、考えを深めるようにしている。☆	74.7	70.7	68.2
	(15) 答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している。	81.3	78.7	78.0
	(16) 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。▲	84.6	87.7	87.8
学習習慣	(1) 学校以外で、月曜日から金曜日まで、毎日およそどのくらいの時間、学習をしますか。（学習塾や家庭教師、習い事の時間は含めません。）			
	・毎日2時間以上	13.7	19.9	15.0
	・毎日1時間以上、2時間より少ない	36.1	35.3	32.2
	・毎日1時間より少ない（全くしていないを含む）▲	50.2	44.8	52.8
	(6) 授業で学習した内容について、疑問に思ったことや興味をもったことを調べるようにしている。▲	58.7	67.3	65.3
学習指導の工夫	(1) 授業では、問題や活動に取り組んで「できた」「分かった」と感じる人が多いと思う。	84.2	82.9	82.0
	(2) 授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う。☆	83.4	80.2	78.8
	(3) 授業では、他の教科の授業で学習した内容を生かして考える時間があると思う。☆	77.6	71.4	72.0
	(4) 授業では、他の人と考えを交流しながら課題を解決する活動を行っていると思う。☆	85.9	84.6	83.2
	(5) 授業では、自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間があると思う。☆	80.1	79.2	77.2
	(6) 授業では、学習した内容をどのように振り返ったらよいかを、教えてもらっていると思う。	72.6	70.1	70.9

・他の人と相談して考えを深める協同的な学び、多面的に考えようとする傾向が見られます（☆）。一方で、疑問や興味を深く追求する経験、粘り強く学習に取り組もうとする意欲、家庭学習の定着に課題がみられる傾向（▲）がうかがえました。

★3つの調査からの総括

各教科において学習内容の理解が進み、定着していると考えられます。そして、他の人と一緒に考えようとしたり、多面的に考えようとしたりする姿勢がみられる傾向にあります。一方で、今後の課題として、粘り強く疑問を追求したり、学習に取り組もうとする習慣に課題が見られます。生徒の得意分野の伸長、苦手分野の縮減に対する個別に対応できる体制づくり、「個別最適な学び」の促進。そして、疑問や興味を深く追求し、課題解決的な授業を展開していくことができるように授業改善を進めてまいります。なお、家庭学習の習慣化が図れるように、学校から生徒へ指導や助言を進めてまいります。ご家庭でもお子さんへのお声掛けや見守りをいただけますようお願いいたします。